

★★ ☆*****☆☆

近畿アグリレター Vol.494 発行

ー農林水産省近畿農政局ー令和7年10月10日

★★ ☆*****☆☆

- ・近畿農政局ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/kinki/>
 - ・近畿農政局フォトレポート <https://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>
 - ・近畿農政局管内広報誌 <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/index.html>
 - ・近畿農政局 SNS 一覧 <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/SNS/kinkisns.html>
 - ・農林水産省広報誌 aff <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>
 - ・農林水産省 MAFF アプリ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/maff-app.html>
-

1.農政の動き

- ◆『近畿 食と農まるごとブック』の作成について
- ◆「朝ごはん」から日本の食を考える新企画をスタート！
- ◆食品産業×キャラクター・アニメ等のプロモーション入門セミナー開催！
- ◆「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」を策定しました！
- ◆「令和7年度病害虫発生予報第8号」の発表について
- ◆環境負荷低減の「みえるらべる」の取得手続きが楽になります！（2025年9月）
- ◆令和7年8月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）
- ◆米について（随意契約による政府備蓄米の売渡等）
- ◆野菜の生育状況及び価格見通し（令和7年10月）について
- ◆こども食堂・こども宅食等への政府備蓄米の無償交付におけるこども家庭庁との連携及び追加支援について
- ◆10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」！
- ◆残さずおいしく食べきり！食品ロス削減
- ◆近畿農政局渇水等対策本部の解散について
- ◆農林水産省渇水・高温対策本部の解散について

2.お知らせ

<募集・案内>

- ◆「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」随時募集開始 ～みどりをはぐむ明日のために～
- ◆フードテック官民協議会ビジネスコンテストのエントリー受付を開始します！
- ◆第3回フラッグシップ輸出産地の募集開始について
- ◆新技術・新工法の募集について

<表彰>

- ◆令和7年度（第64回）農林水産祭天皇杯等の選賞について
- ◆第13回「食品産業もったいない大賞」の受賞者決定！
- ◆令和7年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）受賞団体の決定について

3.フォトレポート

- ◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをウェブサイトで写真に

より紹介しています。

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

5.統計情報

◆令和6年漁業経営統計調査結果

◆令和6年度野生鳥獣資源利用実態調査結果

◆令和7年度容器包装利用・製造等実態調査結果

1.農政の動き

◆『近畿 食と農まるごとブック』の作成について

農林水産省近畿農政局では、管内の食料・農業・農村分野に関する動向や主要施策の取組状況をとりまとめた「近畿 食と農まるごとブック」（令和6年度版）を作成しました。本書は、農業・農村の姿を写真や統計データを活用して紹介するとともに、地域における先進的で特色ある取組事例を多数掲載しています。また、今年度は、「概要版」を作成し、トピック等を短時間で把握できるようにしています。農業関係者をはじめ、行政、教育など幅広い分野の方の参考資料として、ぜひご活用ください。

詳しくはこちら（近畿農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/250926.html>

◆「朝ごはん」から日本の食を考える新企画をスタート！

農林水産省は、「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」と題し、身近な食を取り上げ、その背景にある日本の食や農をめぐる事情・課題について考えるきっかけとなるように、官民協働で国民運動を展開しています。

本日から、株式会社読売新聞東京本社（以下「読売新聞」）をはじめとした推進パートナーと連携し、「朝ごはんから日本を考える。」企画をスタートします。この企画は、「朝ごはん」をテーマに、朝食を食べることの利点や、国産農林水産物や環境負荷低減に資する農産品等についての情報発信を行い、日本の食や農をめぐる事情・課題について身近な食シーンを通して考えるきっかけづくりを目指します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/251001_1.html

◆食品産業×キャラクター・アニメ等のプロモーション入門セミナー開催！

農林水産省では、食品関連事業者等を対象に、キャラクターやアニメ等のコンテンツを活用したプロモーションに関するセミナーを開催します。コンテンツ活用の基本から、食品業界での具体的事例まで、分かりやすく解説します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/251006.html

◆「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」を策定しました！

農林水産省と文部科学省では、学校における食育の推進に向け、学校給食における地場産物等の活用をスモールステップから始める際のポイントを、「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」として取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/250930.html>

◆「令和 7 年度病害虫発生予報第 8 号」の発表について

農林水産省は、「令和 7 年度 病害虫発生予報第 8 号」を発表しましたので、お知らせいたします。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/251008.html>

◆環境負荷低減の「みえるらべる」の取得手続きが楽になります！（2025 年 9 月）

農林水産省では、生産者の環境負荷低減の取組が消費者に伝わるよう、「見える化」（ラベル愛称：みえるらべる）を推進しています。このたび、みえるらべるの等級表示の算定を自動で行うことができる農林水産省の「環境負荷低減の見える化システム」が、株式会社クボタの KSAS（本年 7 月）に加えて、ウォーターセル株式会社の営農支援アプリ「アグリノート」と連携しました（※）。これにより、アグリノートを利用する方は、「みえるらべる」の取得手続きが従来よりも簡素化されます。農林水産省では、今後とも営農管理アプリ等との連携拡大を図り、生産者の「みえるらべる」取得の利便性向上を目指してまいります。ぜひ「見える化」の取組をご検討ください。

（※）当該連携は一部の品目に限られており、現時点では米のみが対象となっています（今後「茶」についても対応予定）。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250930.html

◆令和 7 年 8 月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）

農林水産省は、(1)「令和 6 年産米の産地別集荷・販売状況（令和 7 年 8 月末）」、(2)「民間在庫の推移（令和 7 年 8 月末）」及び (3)「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向（令和 7 年 8 月）」について、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/250930.html>

◆米について（随意契約による政府備蓄米の売渡等）

農林水産省は、随意契約による政府備蓄米の売渡等、米に関する情報を随時更新しています。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/index.html>

◆野菜の生育状況及び価格見通し（令和 7 年 10 月）について

東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格の見通しについて、主産地等からの聞き取りを行った結果を公表します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/250930.html>

◆こども食堂・こども宅食等への政府備蓄米の無償交付におけるこども家庭庁との連携及び追加支援について

農林水産省は、こども家庭庁と連携し、こども食堂・こども宅食等への政府備蓄米無償交付の申請手続きの簡素化等を行い、これに併せ、今年度の申請機会を拡大します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/b_taisaku/250926.html

◆10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」！

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。本期間を通じて食品ロス削減につながる取組を行っていませんか？

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_2.html

◆残さずおいしく食べきり！食品ロス削減

農林水産省は、外食での食品ロス削減の取組を一層促進するため、外食店舗における「食べきり」を呼びかけることを目的とした啓発ポスター及び卓上ポップを作成しました。外食店舗で食べきりを呼びかけるため、ぜひお気軽にご使用ください。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_1.html

◆近畿農政局渇水等対策本部の解散について

近畿農政局は、令和7年度の渇水及び高温により、水稻の生育等が懸念されていることを踏まえ、現状把握を通じた速やかな対応を図るため、令和7年8月7日に「近畿農政局渇水等対策本部」を設置し、関係機関との連絡調整や、農業水利の状況、農作物への影響、各府県等による対応状況に関する実態の把握を行うとともに、現場における渇水対策のためのポンプの調達等の支援を行ってきたところです。その後、管内の水稻のかんがい期間が終了し渇水の懸念が解消されました。また、今後の降雨は、「ほぼ平年並みの見込み」となっています。これらの状況を踏まえ、9月30日をもって「近畿農政局渇水等対策本部」を解散しましたので、お知らせいたします。

詳しくはこちら（近畿農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/seibi/sekei/250930.html>

◆農林水産省渇水・高温対策本部の解散について

農林水産省は、令和7年7月30日（水曜日）に農林水産省渇水・高温対策本部（以下「本部」という。）を設置し、現場における渇水対策の取組を支援してきましたが、全国的に水稻のかんがい期間が終了したことから、令和7年10月5日（日曜日）に本部を解散しました。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/mizu/251003.html>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」随時募集開始 ～みどりをはぐくむ明日のために～

農林水産省は国土交通省と共同で、全国の多様な主体の参画を得て GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図る「GREEN×EXPO 2027 全国連携プログラム」を実施し、過去2回募集を行いました。募集期間外の応募受付を希望するお声を多数いただいたことから、10月1日より随時募集を開始いたします。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/251001.html>

◆フードテック官民協議会ビジネスコンテストのエントリー受付を開始します！

農林水産省が事務局を担う「フードテック官民協議会」において、「令和 7 年度未来を創る！フードテックビジネスコンテスト」を開催するため、ビジネスプランの募集を開始します。書類審査を通過した方の本選大会は令和 8 年 2 月 13 日（金曜日）を予定しております。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/251001.html>

◆第 3 回フラッグシップ輸出産地の募集開始について

農林水産省は、今後、一層の輸出拡大を図るため、輸出先国・地域のニーズや規制に対応した農林水産物を求められる量で継続的に輸出する産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。昨年度に引き続き、農林水産物を対象とし、第 3 回募集を開始します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/251001.html

◆新技術・新工法の募集について

近畿農政局土地改良技術事務所では、管内の農業農村整備事業で実施する工事の効率性・経済性・品質の向上等を目的とした新技術・新工法の情報を募集しています。なお、応募いただいた新技術・新工法の資料については管内の国営事業（務）所等に情報提供を行うとともに、新技術の普及を図るため、当ホームページに掲載いたします。

詳しくはこちら（近畿農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seibi/sekei/kokuei/tochikai/tochikai7.html>

<表彰>

◆令和 7 年度（第 64 回）農林水産祭天皇杯等の選賞について

農林水産祭中央審査委員会（会長 伊藤 房雄氏）において、令和 7 年度（第 64 回）農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/251002.html>

◆第 13 回「食品産業もったいない大賞」の受賞者決定！

食品産業の持続可能な発展に寄与する食品関連事業者等を表彰する第 13 回「食品産業もったいない大賞」について、農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房長賞など各賞の受賞者が決定しました。

令和 7 年 10 月 30 日（木曜日）に表彰式及び受賞者による事例発表会を開催、一般公開します。

詳しくはこちら（農林水産省ウェブサイト）

https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/250930_3.html

◆令和 7 年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）受賞団体の決定について

農林水産省では、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することにより全国的な展開に繋げていくために、毎年度、農林水産祭の一部門として「豊かなむらづくり全国表彰事業」を昭和 54 年度から実施しています。この度、豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）において、「小川地域棚田振興協議会」（和歌山県紀美野町）が令和 7 年度の農林水産大臣賞を受賞しましたのでお知らせします。（全国で 16 件）なお、表彰式は 12 月上旬に予定しており、別途お知らせを致します。

詳しくはこちら（近畿農政局ウェブサイト）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/251002.html>

3. フォトレポート・動画

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをウェブサイトで写真や動画により紹介しています。

◇奈良県桜井市

「食品の安全と安心～トレーサビリティを中心に～」について講義－「なら食と農の魅力創造国際大学校」－

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/250924.html>

◇大阪府大阪市

「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 近畿」が開催されました

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/251001.html>

◇滋賀県東近江市

荒れた畑を復活させ、近畿最大規模のオーガニック農園へ！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20250929.html>

◇京都府京都市

第 26 回京都・観光文化検定試験「G-1 グランプリ」8 位入賞

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/kyotokentei26.html>

◇大阪府富田林市

次の世代にも、ミツバチと共存できる環境を残したい！～アズマ養蜂場～

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2025photo/26_azumayoh/tondabay.html

◇大阪府大阪市

「農福連携セミナー」を開催しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2025photo/22_seminar/noufuku.html

◇大阪府大阪市

都市農業に関する情報交換会で西野農園（大阪市東住吉区）が取組事例の発表を行いました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2025photo/25_nishinoe/kokankai.html

◇兵庫県西宮市、神戸市

都市農業に関する情報交換会を開催しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2025/20251007.html

◇兵庫県加古川市

第 3 回 JAPAN BEEF FESTIVAL in KAKOGAWA に出席しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2025/250930.html

◇兵庫県丹波篠山市

自然と共に、未来へつなぐ農業を

丹波篠山では、秋の味覚「ブランド丹波栗」をはじめ、「黒大豆枝豆」などが直売所や道端でも販売されています。私も丹波栗を買ってきて冷凍していますが、何を作ろうかワクワクしています。また、もう少し秋が深まると松茸も出回るので楽しみです。

■ □ ■

☆配信停止、メールアドレス等変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。

☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、

⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

編集・発行：近畿農政局 企画調整室

〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話：075-414-9037（直通）

■ □ ■ □ ■